

論文英語 II (各 1 単位)

担当者氏名 林 隆久・吉川博文・新村洋一・河野友宏・矢嶋俊介・喜田 聡・千葉櫻 拓・坂田洋一・
川崎信治・小川英彦・尾畑やよい・太治輝昭・渡辺 智

◆学習・教育目標 (到達目標を記載)

バイオサイエンス各分野の研究を行う上で、英語論文を読み理解することは、その分野における情報を得るのみならず、研究動向の最新情報を得ることができる。さらに研究成果を公表する書き方を学ぶ上で不可欠である。

論文英語IIでは、研究の主題に応じた論文調査を行うための技術習得を目的として、①主要な科学雑誌を中心とした論文調査法の実践、②過去の関連研究に関する論文調査の実践、以上を目的とする。

◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

英語科学論文学 分子生物学 遺伝学 細胞生物学

◆授業の進行等について

	テーマ	内 容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1	学術論文 1	論文調査の重要性について。	論文英語Iの理解
2	学術論文 2	主要な科学雑誌の最新論文の調査法 (1)	主要な論文データ
3	学術論文 3	主要な科学雑誌の最新論文の調査法 (2)	ベースを理解。
4	学術論文 4	関連研究に関する過去論文の調査法 (1)。	検索した論文調査
5	学術論文 5	関連研究に関する過去論文の調査法 (2)。	の結果をまとめる。
6	学術論文 6	論文調査結果のまとめ (1)。	調査結果の内容
7	学術論文 7	論文調査結果のまとめ (2)	をまとめる。
8	学術論文 8	講義内容の総括。	講義の復習。

◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

書名／著者／発行所 (発行年)
事前にプリントを配布する。

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所 (発行年)
なし

◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト)

演習科目であることから、毎回の出席を重視し、訳等の事前準備と理解の総合評価とする。

◆オフィスアワー

担当教員の所属研究室にて、随時対応する。面談等の必要性があれば、講義の際に面談時間を打ち合わせる。

◆その他受講上の注意事項

毎回、十分な下調べを行うこと。